



見える！動く！創り出す！

くにたち市議会だより



令和7年
(2025年) 5月5日 No.274

第1回定例会

令和7年2月21日～3月24日

発行：国立市議会 編集：広報委員会
〒186-8501 東京都国立市富士見台2-47-1
Tel:042-576-2111(代) Fax:042-576-2205

国立市議会

検索



議会傍聴席入口前に「みんなのスペース」ができました！
～お子さんも遠慮なく議会においでください～

\\令和7年第2回定例会の日程(予定)//

日	月	火	水	木	金	土
5/25	26	27	28	29	30	31
6/1	2 議会運営 委員会	3	4	5 本会議 初日	6	7
8	9	10	11	12	13	14
	本会議 一般質問					
15	16	17	18	19	20	21
	常任委員会					
22	23 議会運営 委員会	24	25 本会議 最終日	26	27	28

今号のトピックス

第2号議案 ▶▶▶ 3面に結果

国立第二小学校改築工事(建築工事)請負変更契約の締結について、全会一致で可決されました。

第4号議案 ▶▶▶ 2面に詳細

国立市地域公共交通活性化協議会等設置条例案が全会一致で可決されました。

第18号議案 ▶▶▶ 2面に詳細

令和6年度国立市一般会計補正予算(第7号)案が全会一致で可決されました。
(職員人件費等、水路等維持管理及び許可事業費、南部地域整備事業費、放課後子ども教室推進事業費、母子予防接種関連経費 他)

第23号議案～第27号議案 ▶▶▶ 4・5面に詳細

令和7年度国立市一般会計、各特別会計(国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療)・公営企業会計(下水道事業)の予算案が賛成多数で可決されました。

第28号議案 ▶▶▶ 3面に結果

国立市固定資産評価員選任の同意について、同意されました。

第35号議案 ～第37号議案▶▶▶ 3面に結果

国立市人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて、同意されました。

開会時刻 本会議・委員会ともに、午前10時開会の予定です。

請願・陳情の提出締切 5月28日(水)正午までに議会事務局へご持参ください。

手話通訳の申込締切 初日：5月28日(水)、常任委員会(3日間とも)：6月6日(金)、最終日：6月17日(火)
※手話通訳を希望される方は、右の二次元コードより国立市議会ホームページ「令和7年第2回定例会の手話通訳の申し込みについて」を御覧ください。



議場の傍聴について

市議会を直接傍聴してみませんか(車いすでの傍聴可)
市ホームページからインターネット中継でもご覧いただけますが、市役所への用事でご来所していただいた合間にも傍聴することができます。また、議会傍聴席入口前にお子さんが遊べる幼児コーナーを設けておりますので、身近に議会を感じてみませんか。

本会議、常任委員会及び予算・決算特別委員会は、インターネット中継(ライブ・録画)を行っています。どうぞご覧ください。

国立市議会 中継



ーこの広報紙は再生紙を使用していますー

第4号
議案

国立市地域公共交通活性化協議会等設置条例案が全会一致で可決されました

建設環境委員会

こんな質疑がありました

Q 委員の選出について、公募市民の選出基準は。また、自動運転などの新しいモビリティ等の関係者が委員の中に入るのか。

A 「地域に望まれる公共交通とは」といった論文提出を考えている。また、具体的な関係者は入っていないが、学識経験者については、他市においての実績もあるので、議論の中で検討していくと考えている。

Q 2年任期という事だが、具体的な施策はどれぐらいの期間で計画を作るのか。

A 地域公共交通計画を策定するには、2年ほどの期間を要する。

Q 委員に交通不便地域の方が入っていないが、当事者から話を聞かないと意味がないと思うが。

A 協議会に必要と認められる方々後から追加する事もできる。また、調査の中で意見を聴ける場も設ける。

Q 委員に福祉有償運送を利用している旅客とあるが、高齢者・しょうがいしゃでは意見が違うと思うがどのように選ぶのか。

A 現在は、しょうがいしゃの方が委員になっているが、意見を参考に選定基準を整理していく。

Q 協議会に他事例の関係者を委員に入れることは、簡単ではないので、勉強会などで招致できないか。

A 広く意見を聴くことは必要と考えるので、検討したい。

こんな討論がありました

賛成利用者と事業者との幅広い協議会で丁寧な審査は当然のことだが、変わる現状に対応してスピード感も持ち合わせて、きちんとした制度になるような協議会を進めることを要望する。

賛成採算性を重視して、合わないものはやらないといった勇気も必要。技術発展を待って、新しいも

のを導入するという事も考えながら様々な事にチャレンジして欲しい。

賛成 まずは、南部地域の実態をよく見て欲しい。過去のコミュニケーションデータベースやデマンド型交通等の実績のデータを生かして、考えてほしい。運転のルートについても全てを網羅するのではなく、駅を中心に商業圏と住宅地を結ぶ等に絞る。または、シャトル便にすれば無人化もできる。既に自動化運転を導入しているノウハウを入れて、そういった検討をしてもらいたい。

賛成 2年をかけて議論を進めていくようだが、交通不便地域の方にとって2年はとても長い。今まで積み上げた知識があるのであれば、早めに交通施策を打ち出してほしい。最近では、高齢者をはじめ多くの方から買い物不便地域の問題も出ているので、その解消も併せて検討して、地域で安心して住み続けられるまちづくりを検討してほしい。

賛成 南部地域の交通不便地域に関して様々な提案をしてきたが、公共交通審議会で検討するとの返答だった。法定化されて様々な知見も取り入れて、変化していく道路環境にも対応しながら、実りある会議になることを切望する。



▲矢川おんだし

第18号
議案

令和6年度国立市一般会計補正予算(第7号)案が全会一致で可決されました

総務文教委員会

こんな質疑がありました

【職員人件費等】

Q 退職手当が補正で増額されるということは、当初の想定より退職者が多いのか。

A 退職者の総数は現時点で35名。うち普通退職者は15名で、例年の5名程度の見込みより非常に多い年代としては、20代後半から30代後半の働き盛りの人材の中でも退職者が増えている状況である。

Q 原因の分析はしているか。

A 他自治体への転職が多い。職場に不満はなくとも、実家の近所や自分のやりたい・特性になじむところへ移るなど自分の働き方を考えての退職が増えている。

Q 職員の退職について、市長はどう考えるか。

A 特に若い世代では転職が当たり前、転職を前提にした社会になっており、ある程度辞めていくことを前提にする必要がある。中途採用の強化や、政策の魅力や働き方等の点で国立市を選んでもらえる状況を作らなければならない。

こんな討論がありました

賛成 国立市役所は良い施策をする良い職場。優秀な人材がくるようなアピールを。

賛成 市長自ら若い職員と直接話す機会を持つとよい。近隣の市庁舎が新しくなっている中、国立も考えるべき。

賛成 人材を募集しても集まらないという課題はあると思うが、引き続き頑張るようエールを送る。

賛成 他の委員が言う市庁舎建て替えは後回しでよいが、転職先として選ばれるための努力は重要。

建設環境委員会

こんな質疑がありました

【都市計画道路3・4・8号線整備事業費】

Q 沿線の物件調査は終わったか。A 拒否する方もいるため3、4件

ほど調査していない箇所がある。

【水路等維持管理及び許可事業費】

Q 工事の委託を見送った減額補正とのことだが、令和5年実施の応急修繕で大丈夫ということか。

A 漏水により水位が保てず水田に水が引けないという相談から予算を組んだが、応急修繕で漏水が解消され、水位が戻った。大規模工事の必要性が低く、経過観察を行うということ減額した。

【南部地域整備事業費】

Q 道路用地買収費の減額理由は。A 南第4号線用地の買収費だが、地権者の事情により契約事業を令和7年度に変更したいということ。一旦減額補正し、7年度に同額を積み直して計上した。

Q この路線は旧本田家住宅へのアクセス道路になる。旧本田家住宅のオープンとずれてしまうのか。

A 用地取得の完了後に道路築造予定のため、7年度中にどこまで追いつけるか調整していきたい。

【商店街振興事業費】

Q 活性化事業補助金が299万円の減額補正となった理由は何か。

A 予定されていた補助対象のイベントが人手不足や猛暑で2件ほど中止になったため。

こんな討論がありました

賛成 決算見込みで減額補正が多いが、全体を見ると物価高もあり膨れ上がっている。これからの予算に対してもしっかり引き締めていくことを求める。

福祉保険委員会

こんな質疑がありました

【臨時給付金給付事業費】

Q 必要な方にしっかり届いたかチェックは行ったのか。

A マイナンバーカードの公金受取口座を登録している方にはプッシュ式で、それ以外は、市から対象者へ確認書を送り、その返送をもって給付する申請方式をとった。確認書に返答がなかった方には、

申請の締切り1か月ほど前に再度、勧奨通知を送った。勧奨通知にも返答がなかった場合の詳細な分析は難しいと考えている。

【放課後子ども教室推進事業費】

Q 安全管理員謝礼、いわゆるほうかごキッズの謝礼の増額理由は。A コロナ禍の際、三密状態を避けるため雨天時の室内実施が無かった。コロナが5類に移行し順次再開に向けて調整を図ってきた中、想定以上の実施ができたため増額補正を行った。

Q 雨天時の対応は、全ての対象学校で再開されたのか。

A 現状、第二小学校はまだ雨天時の再開ができていない。学校の運営に合わせながら検討したい。

【母子予防接種関連経費】

Q システム設定等作業委託料とはどのようなものか。

A 現在は経済的支援と伴走型相談支援を一体的に実施しているが、7年度から前者は子ども・子育て支援法、後者は児童福祉法に基づく制度になるため、システム構築と改修費を計上している。

Q 制度変更によって妊産婦支援に変更はあるか。

A これまでは妊娠時と出生後の2回の給付金支給があり、出生後は子どもの人数に応じて給付する形だった。制度化後は2回目の給付が胎児の数に応じた給付となり、妊娠が継続しなかった方へも給付が可能となった。

【保育総合システム運用事業費】

Q ガバメントクラウド補助運用委託料について、ガバメントクラウドの運用費は無料にするという国の方針との関連は。

A 補助的なサポートの委託料と、運営事業者の容量等に応じて支払う利用料の2つの経費が発生する。どちらも移行後は基本的に自治体負担だが、国が地方交付税で補填措置する。

会派略称 自=自由民主党(石井伸之・青木健・高柳貴美代(議長)・遠藤直弘・大谷俊樹) 風=社民・ネット・風(藤田貴裕・関口博・古濱薫・中谷絢子)
公=公明党(香西貴弘・青木淳子・山口智之) 共=日本共産党(住友珠美・矢部新) 新=新しい議会(藤江竜三・石井めぐみ) 維=日本維新の会(中川貴大)
立=立憲民主党(稗田美菜子) こ=こぶしの木(上村和子) み=みらいのくにたち(望月健一) 耕=耕す未来@くにたち(小川宏美)

令和7年度 一般会計

各特別会計(国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療)、 公営企業会計(下水道事業)の予算案を **可決**

[一般会計予算案については、附帯決議を付し可決されました]



▲市HP 委員会
審査報告書
[附帯決議あり]

予算特別委員会 開催日：令和7年3月6日(木)～11日(火) 委員長：藤田 貴裕 副委員長：香西 貴弘



予算特別委員会(一般会計予算案)での採決の様子

社民・ネット・風 4名 賛成

人と環境重視の予算編成を評価、とことん市民に向き合う市政を

フルインクルーシブ教育推進のための予算は、すべての子どもが平等に学べる環境が整備され、社会全体の理解と共生が進むと評価し、名称変更より実践内容の理解促進が重要と考える。

都市計画道路3・3・15号線、矢川上地区計画については、まちづくりの根幹に関わることから、改めて市民との意見交換をするという見直す方針を評価。

地球温暖化対策については、エネルギー自給に向けた具体的な施策を早急に進めると同時に樹木の

保全と緑の創出が肝要だ。PFAS汚染は今や全国的な課題であり、水質検査費用を予算化したことは、地域住民の安全確保に直結し、将来的なリスク回避にも繋がる施策と評価する。

女性支援事業は利用者の感想を適切にフィードバックするよう望む。

その他、教育環境の整備、人々が交流する居場所づくり等市民生活の質の向上を目指す姿勢が読み取れる予算であると評価し賛成する。徹底した情報公開で、市民との信頼関係を築くことを求める。

令和7年度予算案に対する 会派代表討論(要旨)

【会派名簿順に掲載／賛成・反対は一般会計について】

※各会派が要旨をまとめたものを掲載しています。

※会派の構成人数により討論時間が異なるため、文字数に違いがあります。

公明党 3名 賛成

持続可能な市政運営を！7項目の附帯決議を付けて賛成

令和7年度一般会計予算は昨年に引き続き過去最高額となった。前市政からの継続的な予算と認識している。人口が横ばい状態の中扶助費等の義務的経費が増え続け、行政のDX化を進め、歳出削減が課題となっている。わが党から要望してきた「居住支援につながる住宅確保要配慮に係る居住支援事業」「災害に備える携帯トイレ購入助成」等が予算化された事を評価したい。一方、まちづくりに関する予算への消極的な取り組みが委員会審査からも見受けら

れたことから、PFAS調査の農作物への風評被害対策を市長の責任の下で行う事等の7項目の附帯決議を付し、賛成とする。南部地域の整備や富士見台団地の再生は、選ばれるまちとしてポテンシャルを有している。

引き続き、①ボランティアポイントの導入②小児インフルエンザ予防接種の助成拡大③避難所にベッド、間仕切りの備蓄④認知症ケア技法ユマニチュードの普及啓発⑤要望の多い箇所への安心安全カメラの増設を要望する。

自由民主党 4名 賛成

永見市政を継承した一般会計予算に7点の附帯決議を付し賛成する

令和7年度一般会計予算案には7点の附帯決議を付け、各特別会計予算案及び下水道事業会計予算案には賛成し討論させて頂く。今回の予算の特徴としては、概ね永見市長時代に編成されたものであり新市長の特徴的なものはあまり感じられないという点をあげさせて頂きたいと思います。

まず歳入については当初段階で398億円であり、いよいよ当市も400億円時代を迎えた訳ですが、これは佐藤・永見市政における堅実運営の成果であり、今後

も継承しなければならないものであります。

次に歳出ですが、今後の当市の発展を考える時、南部地域のインフラ整備は必要不可欠であります。その為の南武線立体交差化事業や都市計画道路及び狭隘道路整備は事業の計画通り進めることが肝要であります。これらによる南部の交通不便地域の解消が人口減少化時代にあっても新しい人々を当市に呼び込む重要政策と捉え私たち自民党国立市議団として、地元の皆様と一緒に進めてまいります。

主な質疑項目



自由民主党

- 市税収入が増になる要因
- 各特別会計における収支の健全化
- 道路整備と交通環境の整備と適正管理
- 個人市民税以外の増収増策
- 業務委託受注業者における従業員給与
- くにビズ導入における効果についての評価

社民・ネット・風

- フルインクルーシブ教育実践内容の理解促進
- 3・3・15号線に関わる計画の見直しに取り組む
- システム標準化に対する市の対応
- 太陽光発電設備の設置のための補助金
- PFAS汚染対策を
- 旧国立駅舎東側広場に子ども遊び場の設置を

公明党

- 防犯対策事業費
- ヒアリングフレイル予防事業費
- 幼稚園事業費
- 学校管理費印刷等借上料
- フルインクルーシブ推進事業
- 通学路等安心安全対策推進事業費

日本共産党

- 職員の健康増進、メンタル面のサポートの拡充
- パートナーシップ関係にある住民票統括の記載
- 女性管理職割合を高めるために行っている対策
- 矢川上の地区計画推進における合意形成の状況

新しい議会

- 国立駅南口子育て・子育て応援テラスの事業費
- 健康ポイント事業の委託先の再検討
- 人件費の削減に通じるAIの積極的な活用
- FSXホール、FSXアリーナの雨漏り改修工事

日本維新の会

- 経常収支比率の改善を
- 国保税統一で上げ幅低減

立憲民主党

- 戸籍事務の振り仮名訂正の対応と周知方法
- 国民健康保険の高額療養費の多数回利用者数

こぶしの木

- フルインクルーシブ教育
- 二小樹木保存環境教育推進

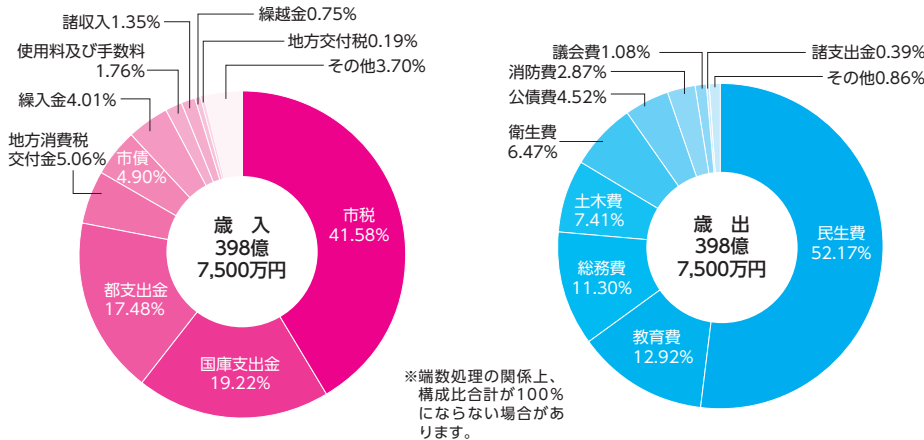
みらいのくにたち

- 認知症グループホームの市内設置
- 介護の2025年問題について現状

耕す未来@くにたち

- 学校給食の質を守る取組
- 駅前子育て・子育て事業

令和7年度一般会計歳入歳出予算額の構成比



立憲民主党 1名 賛成

しわ寄せが弱いところに行かない市政運営を

中期財政見通しでは2032年度まで経常収支比率が100%を切らず、同年度には人口一人当たりの基金残高は3万6,000円、財政調整基金の残高見込みは3,300万円となる。今後の財政運営はしっかりと進め

ることを要望。別室登校について中学校3校の一般財源からの補填は評価。小学校1校についての運用対応は指摘。子どもたちの居場所には丁寧な対応を強く求める。

こぶしの木 1名 反対

東大バリアフリー教育開発研究センターとの協定破棄は大問題！

人権を土台にすえたソーシャルインクルージョンのまちづくりは、地域の全ての子どもを包摂できるフルインクルーシブな学校づくりによって実現する。そのためには様々な知見を有する東大バリアフ

リー教育開発センターとの協定継続は不可欠。国立側が政治的理由で一方向的に破棄することは大問題。教育大綱に掲げるフルインクルーシブ教育の文言を検討するなら、国連の建設的対話を採用するべき。

みらいのくにたち 1名 賛成

市長は公約通り、教育費の大幅な増額をすべき！

一般会計及び各特別会計予算案、いずれも賛成。但し、附帯決議を付しての賛成である。市長の言葉は重い。選挙前後、市民に伝えた言葉に関しては、真摯に向き合って頂きたい。2つのことを要望す

る。①任期中、学校施設改修など教育予算の拡大②国立富士見台団地の建て替えでは、住民の居住の安定を強く図って頂きたい。セーフティネット専用住宅の大規模な速やかな整備を要望する。

耕す未来@くにたち 1名 賛成

人・環境重視のまちづくり予算に大いに期待する！

濱崎市長予算で議論となった3つ。①PFAS水質調査250万円。政府も2026年には水質検査を義務付けていく。情報の透明性を確保するため国に先駆けて濱崎市長が予算化したのは必然の流れにある。

②教育環境整備に1億6,068万円。スマイリースタッフ3名増。③住まいの総合相談窓口開設400万円。どれも人・環境重視のため捻出した予算。支え合いの地域づくりを進めることに大いに期待している。

日本共産党 2名 賛成

市民参加型のまちづくりを推進し、開発優先からひと優先のまちへ

一般会計の予算総額は前年度比7.3%増の398億7,500万円。その要因は景気が回復傾向という事だが、高水準と言えるのは大企業であり、二極化している。市は地元事業者やケア労働を支える事が必要。くにビズの運営など支援する取組みは評価できる。賛成理由①PFAS水質調査事業を取り入れたこと。調査は風評被害を起こすというより、むしろ住民の健康を守り地域の信頼を高めるために不可欠。科学的根拠に基づいた正確な

情報提供を要望。②新規で行う補聴器購入助成を含むヒアリングフレイル予防事業は、我が党が要望してきたことであり調査研究を重ねて形になった事に感謝する。③居住支援は民間委託で総合的な相談窓口を開設するが、入居前・入居中・退去時の総合的な支援体制を期待したい。国保は、物価高騰が続く中、値上げしなかったことは経済的負担軽減から重要な決断だった。

新しい議会 2名 賛成

適切な住宅供給と魅力的な事業で現役世代を呼び込むまちへ

令和7年度の予算の多くは、前市長の元で継続して行われる事業。これまでの審議で適切な経過を経て計上されたものと判断する。手話言語条例が施行された当市でデフリンピック啓発予算が計上されなかったことや、歳入を増やすための商業振興に関する予算が減額されていることを残念に思う。選ばれるまちとなるよう、まずは適切な住宅供給を行ってほしい。PFASに関する水質検査は、風

評被害を最小限に抑えるための予防的措置を確実に講じること。すでに複数の学校で影響が出ているフルインクルーシブ教育は、その名称を見直し、文科省の指針に従い教育環境を整備すること。これまで進めてきた「まちづくり」を遅滞なく円滑に推進することなどを附帯決議とした上で、濱崎市長の今後に期待し、すべての会計予算案に賛成する。

日本維新の会 1名 賛成

附帯決議による薄氷の可決！市長は決議を受け止めた市政運営を！

まず、永見市政を踏襲する予算案を示したことには一定の評価。経常収支比率が106.4%と悪化したことに強い懸念を表明。ヒアリングフレイル予防とAED場所明確に。スマート農業活用を。共同

親権施行に向け、相談体制や対応力の強化を。まちづくりや都市計画の遅滞が生じないようにすべき。フルインクルーシブ教育に関する東京大学との協定見直しを。

一般質問とは、議員個人が市政全般について行政当局（市長や教育委員会など）に質問することです。一般質問発言順に、各議員本人が要旨をまとめたものを掲載しております。また、二次元コードより議員の録画映像を御覧いただけます。

空き家の発生抑制・適正管理・ 利活用は市民参加で対策を！

社民・ネット・風 中谷絢子 議員

Q マイエンディングノートを活用して高齢者に所有建物の終活セミナーを実施してはどうか。

A 高齢世帯の再生活サポートができるよう庁内検討委員会で検討していく。

Q 市外在住の空き家所有者に固定資産税通知を送送する際、空き家相談窓口の案内を同封してはどうか。

A 対象を抽出し案内を同封できるように課税課と協議していく。

Q 空き家管理を市民参加で行う考えは。自治会のコミュニティ範囲で所有者



了解の下ご近所の助け合いで有意義な活動だと考える。

Q 市内セーフティネット制度専用住宅はゼロだが居住支援として空き家を活用する考えは。

A 空き家に占める賃貸住宅率は83.1%。内8割が単身向け物件。住宅確保要配慮者と賃貸空き室がマッチングできる仕組みを整えていきたい。

Q PFA対策を市は進めるべきでは。災害用対策井戸水質検査を行う。他、地域新電力と産後ケア事業を質問。

現役世代を呼び込むための まちづくりと住環境整備を！

新しい議会 石井めぐみ 議員

Q 濱崎市長が考える、国立駅前や大学通りの理想のイメージとは何か。

A ゆったりとした歩行空間や緑の充実。建物や街灯や広告物など、高い水準のデザイン性や統一感があるウォークアブルなまち。国立市はこのような要素をもとと持っていると考えている。

Q 国立市の課題である義務的経費の多い財政状況を見直すことはできるのか。A 経常収支比率が高止まりして財政の硬直化が起きている。あらゆるところを検証し、適正化の余地を考える。



Q 市民から改正の意見もある、教育大綱にある「フルインクルーシブ教育」という表記について、市長はどのように考えているか。

A 現在の表現は個々の受け取り方で様々な解釈がなされ、本来の国立市の教育の趣旨が伝わりにくいと認識している。さらに良い表現がないか検討。

他、現役世代を呼び込むための方策となる、公共施設の再編を含む富士見台地域のまちづくりや、南部地域の住環境整備について、などを質問。

南部地域のまちづくりに対しての 市長の考えを問う

公明党 山口智之 議員

Q 南武線立体交差事業(3・3・15号線含む)や矢川駅周辺基盤整備計画について進める考えはあるか。

A 市長「道路の問題が地域の大きい課題だと思うので、しっかり向き合う。」

Q 小型モビリティを活用して、狭隘道路の多い交通不便地域に公共交通を導入できないか。

A 地域公共交通活性化協議会を設置し、地域公共交通計画を策定し具体的な方針を示したい。

Q 国交省の多摩川緊急治水対策によ



て、どのような効果が出ているか。

A 国立より下流域の河道掘削が行われており、工事終了後は、水位が60cm下がる想定。将来は国立市流域も工事が行われる。

Q 都の新年度予算に防犯機器購入補助金が含まれている。市を通じて補助金が支給されるようだが、市の対応は。

A 未だ、詳細が明らかになっていないので、詳細が判明次第の検討となる。

他、くにPayのふるさと納税への活用について質問。

分煙、ポイ捨て対策を！

新しい議会 藤江竜三 議員

Q 市長はホームページに財源不足は深刻化と記載している。どのように対策を行っているのか。

A あらゆる分野において、歳入の増加、歳出削減の方策を検討しなければならぬ非常に大きな課題だと考えている。

Q 市のカスターマーハラスメントの対策はどのようにしているのか。名札や録音など工夫してみては。

A 名札についてはすでに行っている部分もあるがさらに検討し、録音機も増やす。今後はマニュアルを作成し、対



応を強化していく。

Q ポイ捨て対策等のため喫煙所の整備などの取り組みを行っているか。

A 分煙施設整備を進めよといった趣旨の技術的助言が国からあったこともあり、検討を進めている。

Q 過去の区画整理事業の成果はどのようになっているのか。

A 実施しなかった場合の推計税額と実際の増加額との比較を行ったところ事業効果による増加が見込まれたと推察している。

支援の本質は何かを問う

立憲民主党 稗田美菜子 議員

Q 人間ドックの乳がん検診ではエコー検査があるが、市のがん検診ではマンモグラフィのみ理由は。

A 市のがん検診はがんによる死亡を減らすことを目的とした国の指針で規定されており、行政の健康増進事業とは仕組みが異なるため。

Q アピランスケアの現制度では1回の利用ではなく複数回の利用の検討は。A 複数回ウィッグ助成は考えてないが、再発などによって治療を繰り返す場合のウィッグを使用するときの助成は検



討していきたい。

Q 現在試行的な中学生しょうがい児の学童保育を広く周知をしてほしいと思うが今後はどうするのか。

A 子ども家庭部、健康福祉部、教育部の3部で個々の家庭の不安を個別に聞きながら包括的に検討していく。

「投票支援カード」の導入で 投票しやすい環境の整備を

公明党 香西貴弘 議員

Q 投票所で必要なサポートを予め記入できる「投票支援カード」と視覚しょうがい者の投票用紙への記入を助ける「投票用紙記入補助具」導入を求める。

A 直近の選挙管理委員会が諮りたい。

Q 国が示した新たな災害対応の方針で避難所環境の整備や運営への支援充実が一層求められる中、当市での目下の課題が何処にあると捉えているか。

A 保管場所やスペースの制約から生命維持の必要最低限の備蓄を行うことが現状の限界。この新方針に対応する為



の予算の確保が今後の課題となる。

Q 国立第二小学校建替えて導入された低リップ式トイレを今後の学校改築時における標準装備とするよう提案する。

A 今後の学校改築時のマスタープランや実施設計時に学校と相談し検討する。

Q UR富士見台団地再生を中心としたまちづくりでの市長の見解を問う。

A 市長「団地再生による新たな世代の流入や地域活性化に期待。現住民の居住の安定を図りつつ、URと連携し進めていきたい。

生ごみのカラス対策と青柳南 アパートの交通不便解消策は

社民・ネット・風 藤田貴裕 議員

Q 市の生ごみのカラス対策はなにか。

A 市は市民に蓋つきの容器で出すことを推奨している。収集員がカラス被害にあった集積所を発見した場合、公道は可能な限り清掃している。近隣の方から苦情がある家にはカラス対策の徹底をお願いするチラシをポストに投函している。カラス除けネットは無料で配布しているが、立体的なものを作る予定はない。

Q 青柳南アパートの交通不便解消策は。A おおやっこの乗り入れは難しいの



でニーズ調査を行い、様々な地域モビリティを検討し実現可能か話し合いたい。立川市のくるりんバスの乗り入

れは、国立市の都合では難しいと思う。今後設置する活性化協議会で必要あると認められたら、どのような形で運行可能か議論をした上で立川市に相談したい。

Q 国立駅北口の横断歩道設置は。A 当該箇所は警察と協議した結果、駐車場の出入り口があったり、バスが通る交差点の直後のため設置できない。

市民が輝く国立市を目指して！

日本共産党 住友珠美 議員

Q 社会福祉事業団が立ち上げられ、現在保育審議会で公立保育園民営化の効果検証が行われているが進捗状況は。

A 事業団化した矢川保育園と、公立の西保育園の視察を行ったり、職員・保護者へのアンケートを実施している。

Q 健康まちづくりについて、健康に後ろ向きな方にもアプローチの必要性があると考えますが、市の戦略は。A 健康を幸せ(ウェルビーイング)と大きくとらえ、多様な組合わせをしなが



Q 今まで要望してきた、居住支援について、令和7年度の施政方針にサポート窓口設置とあるが内容を伺いたい。

A 居住支援法人などに委託して、月2回程度住まいる相談窓口を設置する計画。(相談は随時職員も対応)。

Q 高齢期の聞こえの支援として「ヒヤリングフレイブル予防事業」が開始されるが、内容と時期について伺いたい。

国立駅前の円形公園を自由に 出入りできるよう検討すべき

社民・ネット・風 関口博 議員

Q 国立駅前の円形公園は、非日常的な空間で、自由に入れば、カフェを楽しんだり、音楽活動をしたりと、市民にとって心豊かになる空間になるの

で、活用の方法を検討するように要望していたが、検討結果はどうか。

A ローター機能を持続するため、円形公園に日常的に入ることは出来ない。

Q いわゆるスクランブル交差点のようにすれば、自由に入れるのではないかとスクランブル交差点の導入は行って

いないと警察から回答があった。



Q 立川の曙橋交差点では、人々は東西南北斜めに自由に歩いているが、そのような方法は導入出来ないのか。円形公園に自由に入れるようになれば、他

市にない国立市のシンボリックなスペースになる。市長に、そのような意思があれば、警察と検討してほしい。

A 警察によれば、立川の曙橋の様に斜めに歩くのは、違反行為とのこと。

他、地球温暖化対策として宮古島未来エネルギーPPA手法の検討。マイナ保険証の注意点について質問。

一般質問 要旨・発言順

【令和7年2月27日・28日・3月3日・4日実施】

地球温暖化の中、木陰をもたらし 樹冠被覆率を上げよう

社民・ネット・風 古濱薫 議員



Q 学校に行きづらい、行けない、行かない子どもたちが給食を食べずお昼をどうしているか市は把握しているか。
A 詳細には把握できていないが、家庭内で準備し対応していると思う。
Q 第二小学校の樹木の保全をどのように環境教育に生かしていくのか。
A 新たに整備した緑道を「ふれあい豊かな心を育てる」「自然と共生できる学校」の具現化のため、学校・市民団体と協力し手入れ等の対応をしていく。
Q 国立市の樹木被覆率は17%とのことだが、ふさわしい数字なのか、評価は。
A 他自治体との比較が難しいが、多くの自治体が現状維持を目指しており、市もこれ以上樹木を減らしたくないと考えている。
Q 整備中の国立駅南口広場は、子どもが過ごせる駅前となるのか。
A 子ども遊び場としてロータリーの東側の植樹帯を広げ草地の空間をすることや、富士見通り側には地面が盛り上がった部分を作り、小さな子どもも安全に遊べる場所を考えている。

アンテナを高く立てて公約実現を 公共交通・地域経済活性化

耕す未来@くにたち 小川宏美 議員



Q 超高齢社会に向かう中、公共交通を充実させるニーズは高い。東地域でのデマンド交通、青柳南団地へのコミュニティワゴン延伸など依然ご要望がある。再検討する際の課題は何か。
A 運転手不足で既存路線を維持するのも困難なほどだ。協議会を設置して市内の課題やニーズ調査をここで進める。
Q 交通空白地帯の解消を公約に掲げた濱崎市長としては何ができるか。
A 市長 今後2年間、国も公共交通拡充に集中し財政支援をすると言っている。最新情報を得て取り組んでいく。
Q 地域経済活性化を掲げる市長に期待している。学校改築等の大規模工事について、市内事業者も下請けとして参入しているが、安く使われては堪らない。また、PFI調理業務含めて市の為に働く人の労働環境は守るべき。その観点から公契約条例を再検討してはどうか。
A 事業者と意見を交換し、その有用性、実効性を改めて確認していく。
他、女性の管理職・役職者の割合向上に向けた目標と見通しを質問。

介護保険料が多摩26市で2番目、 対応が急務とは

公明党 青木淳子 議員



Q 市長選挙中チラシにある「介護保険料が多摩26市で2番目に高額、対応が急務」との考え方を問う。
A 市長 事実認識の為に問題提起した。介護保険料を抑える方向で検討したい。
Q 介護保険料が高い理由を問う。
A 要介護2までの認定率は26市トップ。総費用額は高いが一人当たりの費用額は18番目と低い。「軽度のうちから介護保険を利用し重度化予防や介護度の改善を図る」ことが機能している成果。
Q 誰も置き去りにしない視点に立った防災対策の状況と訓練参加者にアンケートをとってはどうか。
A 避難所運営委員会や避難所運営訓練にしようがい当事者の方等にご参加頂いている。参加者アンケートは意見収集の一つの手段と捉えている。
Q 立川・国立立女性防火の会活動を問う。
A 本所防災館視察研修や災害時の健康管理をテーマにした講演会に参加。
他、東京都多摩障害者スポーツセンターを福祉避難所に、予防接種費用助成やカーブミラーの転倒について質問。

アメリカの常識の革命を国立で！ 大阪・関西万博が開幕！

日本維新の会 中川貴大 議員



Q 引き続き市報での万博の情報提供を。
A しかるべきタイミングで行っていく。
Q ルッカのコミック&ゲームズも出展する。連携や情報提供はできないか。
A 各部署や各団体で確認できれば対応。
Q 子ども基本条例に基づき、連れ去りなどで親に会えない子供の声に対応を。
A 子ども主体の思いに添える。
Q 携帯電波の継続した改善、整備を。
A 都が目指す「つながる東京」実現に向け、市区町村アセット開放の支援へ。
Q 盲導犬の負担軽減へ、AIの活用を。
A AIスーツケースなど給付の可能性。
Q リカレント教育の推進について。
A 少子化を踏まえ、引き続き取り組む。
Q 経常収支比率がさらに悪化した。トランプ大統領が設置した政府効率化省(DOGE)のように常識の革命を。
A 市長 しっかりと進めていきたい。
Q 各事業は計画に影響を来さないよう。
A 市長 御指摘を踏まえる。
他、犬猫食、アニマルポリス、動物虐待、多頭飼、動物の災害補助金、ブリーダー、動物愛護教育、脅迫を質問。

踏切での人身事故を防ぐ為に 南武線高架化を推進せよ

自由民主党 石井伸之 議員



Q 踏切人身事故を防ぐ南武線高架化は。A 令和8年末に工事着手。令和11年からの献血車両乗り入れ開始を目指す。
Q 都が朝顔の里やおんだし周辺の地域を保全地域指定に向けた現在の動きは。
A 永見市政に相談があり実現へ協議中。
Q 多摩川増水時の対策として堤防決壊時の浸水想定看板を電柱等への設置は。
A 費用対効果を検証して今後検討する。
Q 移動困難者に対する買物支援へ食料品購入アクセス困難地域マップ作成は。
A 店舗から500mをマッピングしたい。
Q 国立駅南口整備事業東西広場へ献血車両乗り入れに向けた路面整備事業は。
A 他、老人クラブ会員数増加支援を質問。

新市長の行政運営方針と 庁内におけるハラスメント対策

自由民主党 青木健 議員



Q 行政の継続性についての考えは。
A 長い経緯を踏まえて策定・合意がなされたものであることをしっかりと踏まえる必要があると考える。
Q 基盤整備の遅れている南部地域の整備についての考えは。
A 昨年6月に策定した「南部地域整備基本計画改定版」に基づき、恵まれた自然と文化を保全しつつ、安心・安全で快適な住環境の形成に向け、都市基盤の整った利便性の高いまちづくりを目指していきたい。
Q 狭隘道路対策と都市計画道路はどうなるのか。
A 狭隘道路については引き続き制度の周知を図りながら、地権者の理解と協力を頂き積極的に進めたい。また、都市計画道路は、市民参加、市民の意見を聞くプロセスが都市計画マスタープラン策定時にあり、この経緯を確認したい。
Q ハラスメント対策について当市の対応はどうなのか。
A 状況に応じ警察と連携していきたい。

選挙戦のチラシの内容から 新市長に問う

自由民主党 遠藤直弘 議員



Q 市長が1番進めたい政策は、現役世代が選んで住む街にしたいとの事だが、どのように進めるのか。
A 人口減少、動態の変化は課題、新しい住民の受け皿となる取組みをしたい。
Q 人口の具体的な目標を定めては。
A 新たな目標なり中長期の予測を検討。
Q 選挙時の政策で、市内在住職員を増やすとあった。これを行えば現役世代が増えるのでは。
A 強制はできないが、災害時対応としても取り組みたい。
Q 選挙時のチラシの中で、教育費をかけていないとか、子育てが他市よりも充実していないとかあるが、事実か。
A ニュースとか報道ベースの情報の取り方で変わってくる。某テレビ局のものは遺憾に感じている。
Q 同チラシで土木費も高いとあったが、矢川プラサの建築費が多く出たもので、子育て費のような物。市長のホームページを変えた方が良いのでは。
A 市長になり見られる情報も増えたので、判断していく。

市長が選挙中に訴えた市政を 取り戻すとは、誰から誰にか

自由民主党 大谷俊樹 議員



Q 市長が選挙中に訴えていた、市政を取り戻すとは、誰から誰へなのか。
A 市長 特定の方を想定というより、市民の参加を進める考えのものと表現。
Q 前市政は市民に軸を置いてないか。
A 市長 特に私を応援した方は、そういう認識を持っていた。
Q 自民党政権から、かつての上原市政、共産党や生活者ネットワークの市政に取り戻す事を強く訴えてやったのか。
A 市長 特定のイデオロギーにこだわらない形でやっている。あれは選挙の話。
Q 市民という言葉が特定の一部の市民を指すのが議会であるが。
A 市長 多くの意見を聴く事に努める。
Q 駄目です。市民全員と対話出来ないのなら議会と対話すべき。市長は国立市民でなくとも立候補できるので行政の長として選ばれている、議員は国立市民でなければ立候補できない。仕組として市民の代表である。どうか。
A 市長 市民の代表の議会と当然地方自治体のシステムから、しっかりと対話していく必要があると思っている。

国立富士見台団地の建替えに おいて市は住民を守れ！

みらいのくにたち 望月健一 議員



Q 不登校の支援を学校で行う場合、正規職員がつけられる制度の導入は。
A 検討を始めている。
Q 教育費の他市との比較は。
A 幼稚園を教育費として計上する自治体や、教育施設が多い自治体と比較すると国立市は教育費が少なくなる傾向。
Q 第五小学校の水道が鉄の味がする。という児童の訴えに対する対応は。
A 調査の後、パッキン交換や清掃を実施。
Q 富士見台団地の再生に関して、住民の不安に応える具体的な対策を求める。
A 居住者の声を聴き高齢者が住み続けられる環境を整えることが非常に重要。
Q セーフティネット住宅の大規模設置に関して、現在の検討状況は。
A 引き続き検討する。
Q 市内全域でセーフティネット住宅を200戸つくりたいか。
A 市長 住宅施策の中にセーフティネット住宅を含めて検討する。
Q オンブズマン制度、民間事業者も相談対象先として働きかけはできないか。
A 協力していく。

一般質問 要旨・発言順

【令和7年2月27日・28日・3月3日・4日実施】

一般質問とは、議員個人が市政全般について行政当局（市長や教育委員会など）に質問することです。一般質問発言順に、各議員本人が要旨をまとめたものを掲載しております。

編集後記

濱崎真也新市長が就任して初めての定例会。予算特別委員会では市長提案の新年度予算案全て原案可決となりました。税金が皆さんの暮らしのために使われているか今後も注視してまいります。今号で前期を終え、広報委員会メンバー入れ替えとなります。2年間お読みいただいた感謝をお伝えし、今後も議会への関心をお寄せいただきたくよろしくお願いいたします。



広報委員会委員

公約の「対話と市民参加」 あらゆる分野で徹底を

日本共産党 矢部新 議員



Q 会計年度任用職員が行った内部公益通報が、不適切に取り扱われていた。庁内における制度の周知がなされていないのが問題である。研修等に盛り込むべきではないか。

A ポスター掲示等で周知を行っている。今後、行政不服審査の研修等に含めるなど、制度周知に努めたい。

Q 矢川上地区のまちづくりと都市計画道路3・3・15号線の関係は市民にどう説明したのか。

A 区画整理の網かけを外しても道路の

計画線は依然残るという関係。Q 説明や意見聴取が足りていない。今後、説明や意見交換の場を設ける予定はあるか。

A パブリックコメントやオープンハウス、個別の意見交換会などを行う。Q 市長は対話と市民参加を公約としていた。どのような分野で市民の声を取り入れるべきと考えているか。

A 市長は気候変動やまちづくり、居場所の充実など様々な分野を考えている。具体的手法は要検討。

これまでの市政の良い面を しっかり引き継ぐことを求める

こぶしの木 上村和子 議員



Q 施政方針に戦後80年、国立市平和都市宣言告示から25年の節目にあたっての平和に対する市長の決意表明があったことは残念。6月21日のくにたち平和の日に、市長発意の平和企画を。

A 市長非常に大切な戦争体験者から直接話を聴く機会がなくなっていく。今、次世代に継ぐをコンセプトに検討。

Q 前永見市政の財政ビジョンは人に照準を合わせた福祉型予算で積極的財政と私は考える。財政難を理由に市民生活を押迫する緊縮財政は危ない。濱崎

市長の財政ビジョンを問う。A 市長福祉や人を支える予算は極力削減すべきでない観点も含め検討。Q フルインクルーシブ教育の文言と東大との協定を継続すべきと考えるが。

A 市長教育大綱の見直しを含めフルインクルーシブ教育の名称も検討必要。

Q 二小樹木保存は生きた環境教育、大

A 学通り桜守活動も同様、協働推進を。

A 市長教育委員会とも相談検討。

市長施政方針表明に対する会派代表質問（要旨）

各会派が要旨をまとめたものを掲載しています。会派の構成人数により質問時間が異なるため、文字数に違いがあります。市長施政方針表明の全文は市ホームページ、抜粋は市報4月5日号をご覧ください。

期待に応え「ひと優先」への転換を 日本共産党

- Q 前市政からの転換点は何か。
- A 予算やまちづくりのあり方をひと・環境中心に変えていく。道半ばだが、PFAS対策や高さ制限の議論を始めることなどは明確な違い。
- Q 物価高による市民の生活苦への対応は。
- A 食や住へ、より一層の支援を考える。
- Q PFAS対策について今後の展開は。
- A 水質調査を通して適切な情報発信・提供を行い、近隣自治体と連携して都や国へ具体的な取組を要望していく。
- Q 都市計画道路3・3・15号線について見解を問う。
- A 市民の中で様々な意見があることは事実。しっかり市民の意見を聞き都に伝えていかなければならない。

人権平和引き継ぐ事を評価。後退ダメ こぶしの木

- Q 前永見市政は人権を土台に置くソーシャルインクルージョンのまちづくりを大きく発展させたが、濱崎市長のソーシャルインクルージョンの認識は。
- A 炭谷茂さんともお会いし、不安定な社会では誰もが当事者になる。人権は言葉ではなく、市民生活に寄り添った具体的施策と予算だて。考え抜く。
- Q 市長に立候補した最大の理由は何か。
- A 現役世代の人数が減少している。これをとめなければならないと考えた。

柔らかな発想と対話で創るくにたち 耕す未来@くにたち

- Q 新市長誕生の機運を市民に開かれた市政に繋げたい。具体策はあるか。
- A 新年度からタウンミーティング、若い世代にデジタルツールも活用する。
- Q 緑・生物多様性への市長の考えは。
- A 都市における緑の充実が国家的なテーマ。矢川おんだし周辺を都と連携して保全地域として指定を推進していく。パリ・シャンゼリゼ通り等先進例を視野に、国立駅周辺の緑拡充に取り組む。他、国保税の急激な値上げの抑制策。

濱崎新市長の訴えはいずこに 公明党

- Q 市長が最も変えていきたいと考えていることは何か。
- A 物価高騰の中での子育て支援の充実。
- Q 前市政で子供たちが置き去りにされてきたとの市長の発言があった。それへの方針や施策が今回見出せないか。
- A 就任時期の関係から次年度予算に反映することが難しく、また財政状況の制約もある中で従来の施策拡充に努めた。
- Q 科学的な根拠が定まっていな中、災害用井戸のPFAS水質調査の実施での農作物への風評被害は大丈夫か。
- A 市民不安に基づき調査の必要性は高まっていると判断。不安や誤解が生じないよう適切な情報発信に努める。
- Q 矢川上土地区画整理事業の見直しと地区計画の策定について市民の意見を聴くとの場合、市民とは第一義としては当該住民と解すべきではないか。
- A 法令の規定に基づく、広く市民の意見を聞くべきと解するのが適当。

新市長の目指す市政とはなにか 立憲民主党

- Q 職員の人員不足への対応は。
- A 民間の待遇改善による退職者の増加傾向が続いている。各自治体でも同様で早急に処遇の改善と環境改善が喫緊の課題。テレワークやフレックスタイムなどの柔軟な働き方の検討も必要。
- Q 市長の考える行財政改革とはなにか。
- A 状況の整理の上で自治体の特性や財政状況を踏まえて歳出歳入あらゆる方面から議論を始めたい。
- 他、在宅避難、移動支援について質問。

国立市は他市に比べ教育費が低いのか みらいのくにたち

- Q 市長選で、教育費の占める予算割合が多摩26市中下から3番目と主張された。一律の基準で比較されているのか。
- A 比較の仕方として不適切だったとは考えていない。
- Q 幼稚園費、学童保育所費、給食食材費が教育費として計上されている自治体もある。訂正を求めたい。
- A 修正は考えていない。誤解を招いた要素があれば、正確な情報の発信を検討していく。

フルインクルーシブ教育の名称は残せ 社民・ネット・風

- Q 「フルインクルーシブ教育」の表現を変えてはいけないと思うがどうか。
- A フルインクルーシブ教育は、しょうがいがある子もない子も全ての子どもが基本的に常に同じ場で共に学ぶことを目指していると理解している。国立市においては、当事者の選択肢を残し一人一人のニーズに的確に応え、通常学級の包摂力を高めていく取り組みなので、教育大綱で分かりやすい表現を含め見直したいと考えている。
- Q 一般会計に占める教育費の割合は、前年度に比べ下がるがどういうことか。
- A 二小の建て替え費用が減ることが大きい。新年度はスマイリースタッフの増員や部活動の地域移行に係る委託金、FSXホール（芸術小ホール）の雨漏り対策など拡充の予算も計上した。教育予算を増やすべく必要な措置について、教育委員会と調整したい。
- Q 国立二小の建て替えにおける樹木の保全策は何か。
- A 工期の延長で子どもたちが新しい校舎に入ることが遅れないように考えなければならない。既存樹木の保護は様々な影響が出る。

維新の改革を新市長に示す！ 日本維新の会

- Q トラUMP大統領の常識の革命を国立で。
- A 前提に囚われず、社会情勢に合わせる。
- Q リカレント教育の推進について。
- A 国立市でも取組を推進していきたい。
- Q PFASや環境・人権・平和は緊急か。
- A PFASは個別、平和は広域で対応。
- Q 経常収支比率が悪化した。対応は。
- A あらゆる分野での歳入増と歳出減を。
- Q フルインクルーシブ教育の見直しを。
- A 基本的にそのような認識をしている。他、共同親権、社会保険料を質問。

矢川駅周辺まちづくりを前に進めよ 自由民主党

- Q 市長施政方針には市政に対する情熱、熱さ、パッション、元気が感じられず小さくまとまっている。行政トップのビジョンや気概が無ければ市政は推進力を失いかねない。市長は全身全霊で取り組むとあるが最も重要な点は何か。
- A どれか一つではなく全ての事を示す。
- Q 市長施政方針は永見市政の継承だが永見市政の大部分の政策を引継ぐのか。
- A ご指摘いただいた傾向にあると思う。
- Q PFAS汚染対策とあるが地下に浸透した物質に対する対策とは何か。
- A 汚染対策ではなく状況把握を行う。
- Q 第2期環境基本計画にPFASを入れ、風評被害対策を盛り込むべきでは。
- A その計画の内容を把握していないが指摘を踏まえ庁内で相談し、検討する。
- Q 矢川上土地区画整理事業の見直しに伴う地区計画の策定に向けていつまで市民と対話を行い、対話の終了条件は。
- A 今後の進め方は検討中であり明確な時期はここで伝えることが難しい状況。
- Q 国立市都市計画マスタープラン第二次改訂版にある3・3・15号線整備方針を市長は尊重する考えはあるか。
- A 間違いなく尊重されるべきである。

子育て支援と若者への政策が必要 新しい議会

- Q 市長の考えを示したうえで対話を進めるべきではないか。
- A 必要な場面においては、市長の考えを示したうえで議論を行っていきたい。
- Q 対話や審議会など無作為抽出の手法を取りいれてみてはどうか。
- A 非常に有効なやり方になるような場面もあるかと思うのでしっかり取り組んでいきたい。
- Q 現役世代への支援策をどのように考えているのか。
- A 子育て環境の充実が非常に重要。また若者の意見を反映するための審議会、起業、創業支援、若者にとって住んで魅力的なまちになるということを考えている。